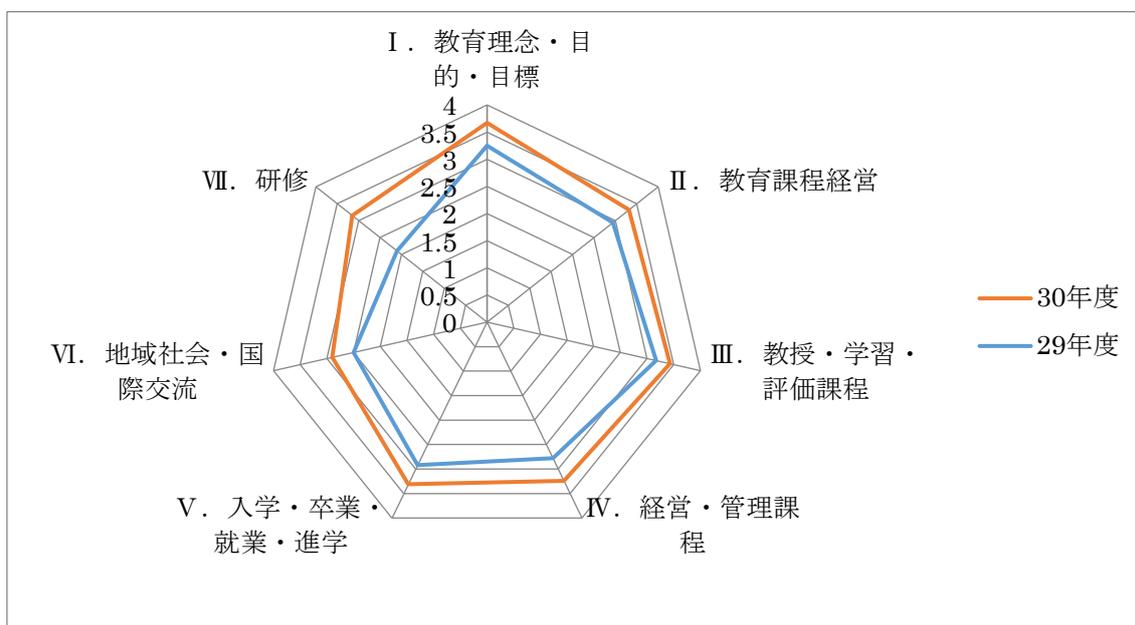


平成30年度 学校評価の結果報告

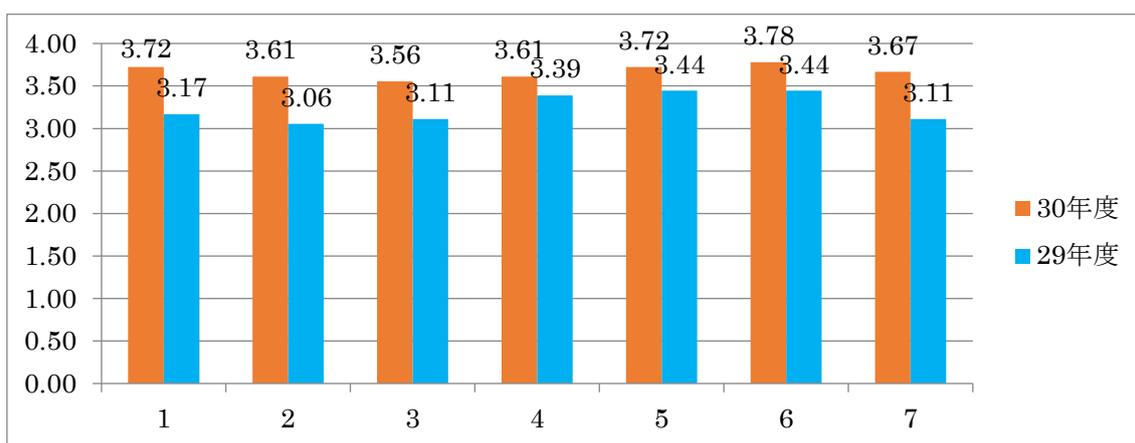
< 7領域における自己評価 >



【分析方法】

「A：そう思う」を4点、「B：ややそう思う」を3点、「C：あまりそう思わない」を2点、「D：そう思わない」を1点とし、平均値を算定した。無回答は平均値の分母から除外した。

I. 教育理念・教育目的・教育目標



1	教育理念・教育目的は、本校の教育上の特徴を示しており、かつ、法との整合性があるか。
2	教育理念・教育目的は、学生にとって学修の指針になるように具体的に明示され、実際に指針となっているか。
3	看護・教育・学生観について、教員の教育活動の指針となるように明示され、実際に指針となっているか。
4	本校の教育理念・教育目的が教育目標と一貫しているか。
5	教育内容は、設定した教育内容を網羅しており、かつ、卒業時の学生の到達度が明示されているか。

6	教育目標は、看護者としての能力を育成する側面と修学者としての成長を促すための側面から設定されているか。
7	卒業後の継続教育の考え方を示した上で看護基礎教育として、教育目標を設定しているか。

1. 現状

本校の理念である「信・誠・敬・愛の校是と行学一如の建学の精神の実践を通して人間形成を目指す」については全体的に、高く評価されており、向上もしている。

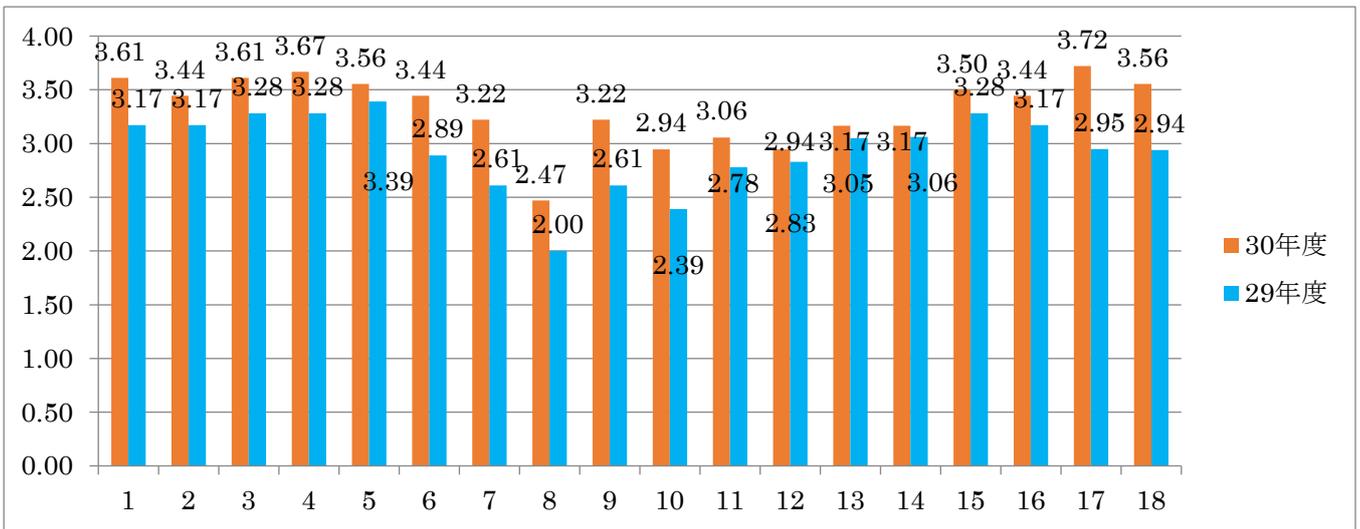
2. 課題

昨年まで仏教的行事の実施や、教育理念を特徴付ける科目を取り入れる必要性が、アンケートにあったこともあり、今年度2年生の研修旅行前に、坐禅教室を実施した。今後も本学の教育理念をいかに看護に結びつけるかが継続した課題である。

3. 改善の方策

教育目標にある「仏教的人間観」について、今の仏教的な行事（降誕会）の他に、坐禅教室を実施した。今後も企業などで取り組まれているマインドフルネス的な取組なども校長室便り等を通して紹介していきたい。

II. 教育課程経営



1	科目と単元の考え方は、教育理念・教育目的・教育目標と整合性があり、明確な根拠をもっているか。
2	構成した科目は、本校の特徴を表しており、看護者を養成するのに妥当であるか。
3	単位履修の方法とその制約について、教員・学生の双方が解らなっているか。
4	単位認定の方法は、看護者に必要な学修を認めるものとして妥当であるか。
5	他の高等教育機関と単位互換が可能な体制を整えているか。
6	教育課程を評価する体系を整えているか。
7	教員が専門性を発揮できるように教員の担当科目と時間数を配分しているか。
8	教員が授業準備のための時間をとれる体制を整えているか。
9	教員が自ら成長できるように自己研鑽のシステムを整えているか。
10	教員が相互に成長できるように相互研鑽のシステムを整えているか。
11	臨地実習施設は、本校の教育理念・教育目的、教育目標を理解しているか。
12	臨地実習施設は、学生の看護実践への学修を支援する体制を整えているか。
13	実習施設における学生の学びを保障するために臨地実習指導者と教員それぞれの役割を明確にしているか。
14	実習指導者と教員の協働体制を整えているか。
15	学生からケアを受ける対象の権利を尊重するための考え方を明示しているか。
16	対象の権利を尊重する考え方に基づいて、学生への指導を計画的に行っているか。
17	実習において学生が関係する事故を把握し、分析しているか。

1. 現状

教育課程経営は、全体に向上しており、忙しい中でも、高いレベルで教育課程が計画、実施されていることがうかがわれる。毎年課題となっていた時間の確保については、今年度12月から教務事務員を採用し、印刷、清掃や教務事務等を通して、先生方の負担軽減に貢献している。

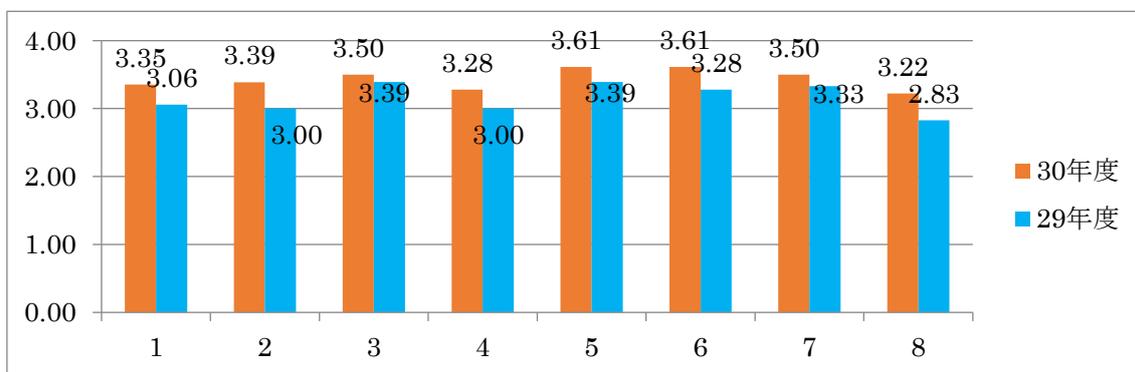
2. 課題

依然として、授業準備のほとんどを自宅で行わなければならない状況や、経験の浅い先生方の研鑽、教員相互の研鑽の充実など課題が残っている。また、施設によっては学生への対応に差があることも継続した課題である。

3. 改善の方策

- 1) 今後も教材研究や事務的業務の時間確保のため、会議の簡素化や授業計画や反省の蓄積、共有など授業計画の効率化を進める。
- 2) 引き続き、教務部に研修係を置き、年間計画に沿って授業研究も含めた学内での教員研修の実施と、研究・研修費を活用した教員の教育力の向上を図る。(特に新規採用教員には担当指導教員を位置づけ、日常的にいつでも疑問の解消ができるよう配慮する) 記述の中にも、授業研究を含めた研修の推進を望む意見がある。
- 3) 今後も実習先との打合せを綿密に行い、実習しやすい環境を整える。

Ⅲ. 教授・学習（講義・演習・実習）・評価課程



1	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか。
2	学生の理解を効果的に促すために授業内容の重複や整合性、発展性などが明確になっているか。
3	授業内容に応じた授業形態(講義・演習・実験・実習)を選択しているか。
4	教員は、評価計画に基づいて、実際に授業を改善しているか。
5	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか。
6	単位認定の評価は、公平性が保たれているか。
7	シラバスの提示や学習への指導は、本校全体として一貫性があるか。
8	シラバスの提示や学習への指導は、主体的な学習への動機づけと支援になっているか。

1. 現状

概ね高く評価され、向上もしている。継続してシラバスの改善を図っており、成果も現れている。

2. 課題

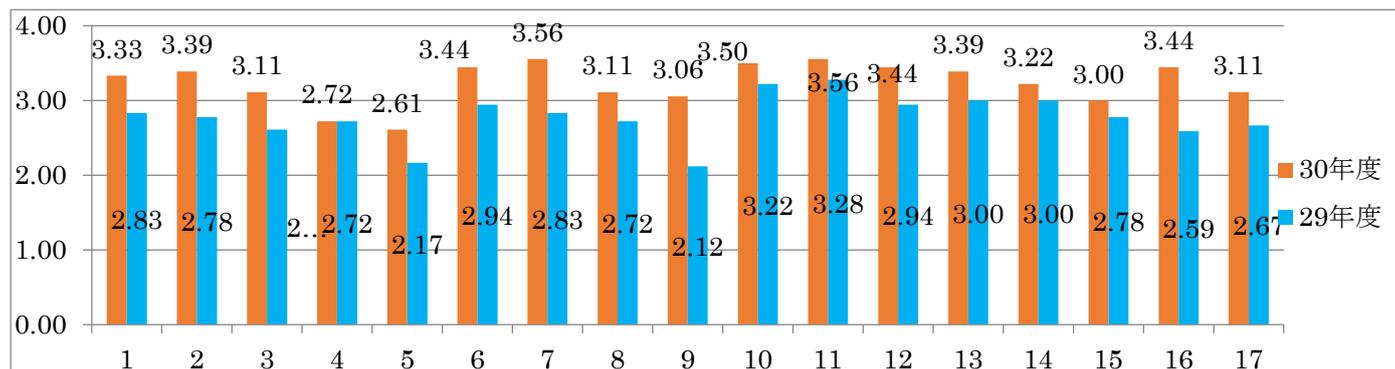
依然として、授業計画を自宅で行う実態があり、時間確保は継続した課題である。記述の中にもあるが、受動的な講義から学生の主体性を生かした授業を計画するため、

さらなる研修や準備の確保が必要である。

3. 改善の方策

- 1) 効果的な協同学習のあり方などの研修を行う。
- 2) 教育課程の改善と同様、授業計画及び反省の蓄積、共有を行い、授業研究の効率化を図る。
- 2) 今後に予測されるカリキュラムの改定に向けて、現行カリキュラムの課題のブラッシュアップと共にシラバスの改善に努める。

IV. 経営・管理課程



1	教職員は、設置者と管理者の意志・指針を理解しているか。
2	組織体制は、教育理念・教育目的を達成するために意思決定のシステムや権限、役割機能が明確になっているか。
3	組織構成員の意思の反映や決定事項を周知できるような体制を整えているか。
4	教職員は、本校がどのような財務基盤によって成り立っているかを理解しているか。
5	それぞれの観点から財政についての教職員の意見を経営・管理過程に反映できるようになっているか。
6	施設・設備は医療・看護の発展や学生の変化に合わせて計画的に整備改善しているか。
7	教職員の倫理規定が明確になっているか。
8	教職員の資質の向上についての考え方と対策は、教育理念・教育目的の達成と整合性をもっているか。
9	学生及び教職員にとっての福利厚生施設・設備は、学生生活や教職員の職務が円滑に遂行できるように整備されているか。
10	危機管理マニュアルを策定し、それに基づき防犯・防災(避難)訓練を行うなど、安全確保の体制を整えているか。
11	健康管理委員会を設置し、学生の健康管理を支援するための年間計画を立案・実施・評価を行っているか。
12	学生が入学後に学習を継続できる支援体制を多角的、かつ学生が活用しやすいように整え、実際に学生生活の支援になっているか。
13	教育・学習活動に関する関係者(保護者等)への情報提供を行うことによって、その協力支援を得ているか。
14	広報活動は、看護者を養成する機関として、その存在を十分にアピールし、かつ社会的説明責任を果たす内容と方法になっているか。
15	本校の運営においては、設置者の将来構想の下に運営の中期・短期計画、年間計画を立案し、実施・評価を行っているか。
16	自己点検・自己評価の体制を整え、学校評価として運用しているか。
17	評価機能は、カリキュラム運営、授業実践にフィードバックし、教育理念、教育目的、教育目標を維持改善するものとなっているか。

1. 現状

概ね高く評価され、向上も見られる。一番低かった9の施設設備については、エアコン設置の影響が大きかったと思われる。倫理規定については一昨年度より校長から学生と教職員に対して、ハラスメントについて学校としての方針を示し、防止に努めている。広報では、ホームページを通して情報発信に努めている。また、NWS通信を一昨年度より全面的に見直し、広報活動充実を図っている。

2. 課題

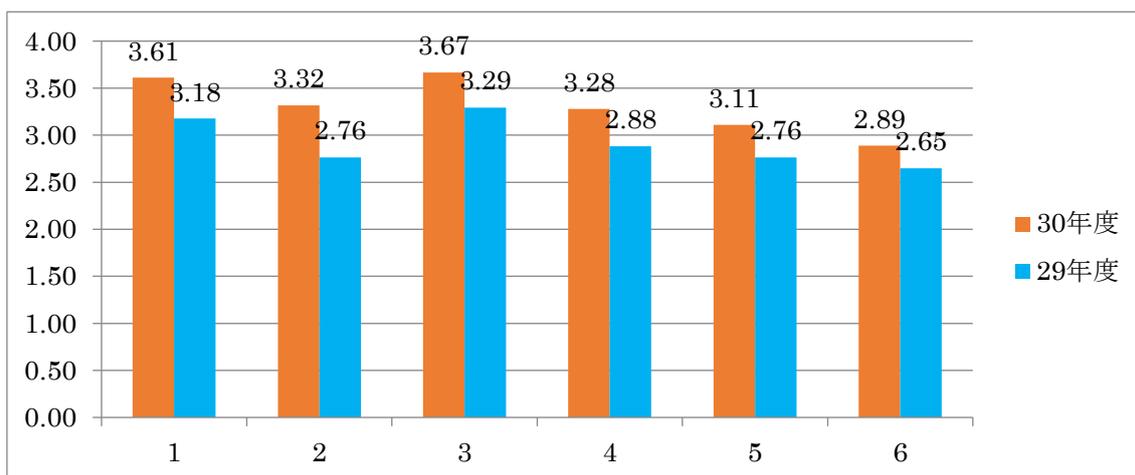
校舎の耐震化については、現在建て替えも含め、検討中だが、結論までは時間がか

かる予定。施設・設備の整備・改善については、耐震の取組との関連を見ながら、ニーズを把握し、改善に努める。財政についての説明について、よりていねいな対応が求められている。

3. 改善の方策

- 1) 学生数の確保による財務基盤の強化
- 2) 財政と関わりの強い、将来構想について岩見沢市の企画室と教育委員会の施設課、本学の早川理事の協力を得ながら、検討している。2023年には一定の結論を出す予定。動きがあれば情報を提供する。
- 3) 福利厚生施設については計画的に推進してきたが、耐震の関係があるため、長期的展望の中で計画を見直す必要がある。
- 4) それぞれの部の中での意見反映を大事にして、組織の風通しを良くすると共に、年間を通して望ましい職場の雰囲気作りを推進する。
- 5) ハラスメント防止等の徹底については、今後も取り組みを継続する。
- 6) 学校評価の分析は次年度の経営方針に反映させると共に、改善の方策を基に経営目標を達成するための組織的な取り組みを行う。

V. 入学・卒業・就業・進学



1	本校の教育理念・教育目的との一貫性から、入学選抜の考え方を明確にしているか。
2	入学後の成績の推移等、入学者の状況を分析し、選抜方法の妥当性を検証しているか。
3	入学希望者を確保するため、積極的な募集を行っているか。
4	卒業時の到達状況及び就業・進学状況を分析し、教育理念・教育目的との整合性を検証しているか。
5	卒業生の就業先での評価を把握するために就業先との情報交換や調査ができる体制を整えているか。
6	卒業生の活動状況を把握し、統計的に整理して、教育理念・教育目的・教育目標、授業の展開に活用しているか。

1. 現状

概ね高い評価で、向上も見られる。

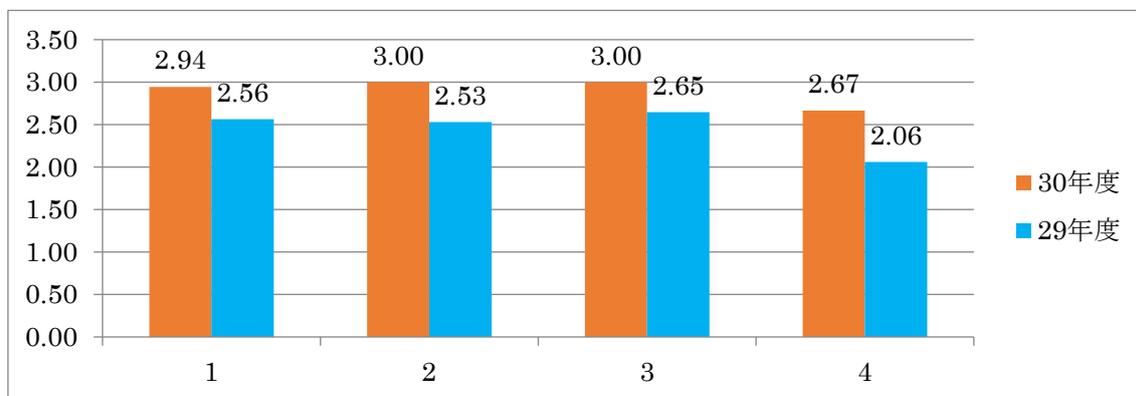
2. 課題

- 1) 昨年より入学前講座を入学予定者に勧めており、昨年は5割、今年度はさらに多くの学生が講座に参加する見通し。入学後には全員を対象にプレイスメントテストを実施し、国語、数学、生物、化学の学力を把握し、入学後の指導に活用する。
- 2) 卒業生の情報については、病院の学校訪問時に近況報告を受けているが、学校として現状把握の取り組みは行っていない。卒業生の就職先での状況の把握については、今後、アンケートなど検討する必要がある。

3. 改善の方策

- 1) プレイメントテストの結果とその後の経緯を把握し、入学試験の判定基準の改善に活用する。
- 2) 就職病院への事業者アンケートの検討
- 3) 同窓会のあり方についての検討

VI. 地域社会・国際交流



1	社会と連携し、看護師養成のための教育活動を通して、地域社会への貢献を組織的に行っているか。
2	地域の特徴を把握し、地域内における諸資源を本校の学習・教育活動に取り入れているか。
3	国際的な視野を広げるための授業科目を設定しているか。
4	国際的な視野を広げるための自己学習に適した環境が整っているか。

1. 現状

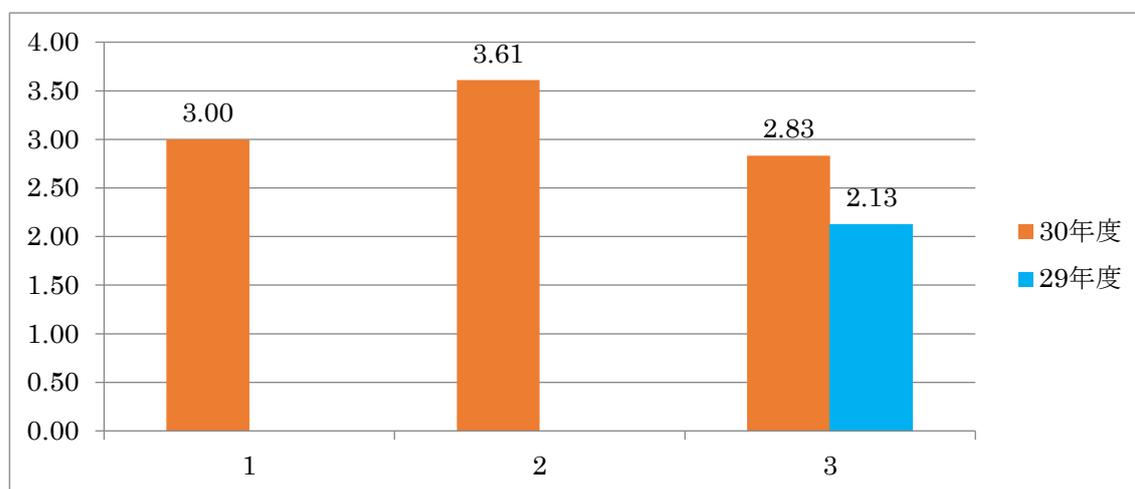
評価は特に高いとは言えないが、向上が見られる。地域の老健施設などでのボランティア活動や歳末助け合い運動には開設時から継続して取り組んでいる。

2. 課題

自己学習の環境については、パソコンの個人貸し出しを開始したり、図書室の専門図書の拡充を図ったりしているが、医中誌WEBなどの文献検索システムを導入していないこともあり、国際的な視野を広げるという意味ではまだ十分とは言えない。

3. 改善の方策

- 1) 国際的な活動経験をもつ講師の開拓
- 2) ホームページ掲載内容の充実
- 3) 医中誌WEBの導入の検討



Ⅶ. 研修

1と2は内容を変更したため、30年度のグラフのみ表示。

1	30年度 教職員の課題や希望に沿った職場内研修を行っているか。(3. 0) 29年度 本校には研究に価値をおき研究活動を教員相互で支援し合う文化的素地があるか。(2. 0)
2	30年度 学会または研修に参加した成果を他の教職員に還元するしくみがあるか。(3. 61) 29年度 教員の研究活動を保障(時間的・財政的・環境的)しているか。(2. 19)
3	教員の研究活動を助言・検討する体制が整っているか。

1. 現状

- 1) 希望の学会や研修が実習と重なり、参加できないことがあるが、全体としては良い評価となっている。
- 2) 一昨年度より教務管理システムを導入しておりが、職場内研修の十分な時間の確保は難しい現状である。研修の成果は還元する仕組みができています。

2. 課題

今後も、教務事務の適切な活用や教員の業務の平準化・スリム化を推進し、研修等を充実させることが継続した課題である。

3. 改善の方策

- 1) 教務管理システムの有効活用の推進
- 2) 昨年12月より採用している教務事務の効果的な活用。
- 3) 学内研修の計画的な実施
- 4) 授業研究や公開授業の実施